



2020年10月30日

各位

会社名 大平洋金属株式会社
 代表者 代表取締役社長 青山 正幸
 (コード番号 5541 東証第1部)
 問合せ先 取締役専務執行役員 藤山 環
 (TEL 03-3201-6681)

売上原価(たな卸資産評価減の戻入れ額)の計上、営業外収益(持分法による投資利益)の計上
 及び業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年3月期第2四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年9月30日)において、売上原価としてたな卸資産評価減の戻入れ額の計上及び営業外収益として持分法による投資利益を計上するとともに、最近の業績の動向を踏まえ、2020年8月7日に発表した2021年3月期第2四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年9月30日)及び通期(2020年4月1日～2021年3月31日)の連結業績予想並びに配当予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

●売上原価(たな卸資産評価減の戻入れ額)の内容

主にニッケル事業において、前連結会計年度は、当社適用LMEニッケル価格の低迷等により、たな卸資産(商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品)の収益性の低下が認められたため、たな卸資産の簿価切下げ額を売上原価に計上していましたが、当第2四半期連結累計期間では収益性が改善したことで、売上原価へ2,867百万円を戻入れる見込みとなりました。

●営業外収益(持分法による投資利益)の内容

フィリピンの持分法適用関連会社において、堅調な需要等に支えられ、当第2四半期連結累計期間におきまして、持分法による投資利益1,146百万円(第1四半期連結累計期間 持分法による投資利益549百万円)を計上する見込みとなりました。

●業績予想の修正について

1. 2021年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (2020年8月7日発表)	百万円 12,919	百万円 △994	百万円 △136	百万円 △257	円 銭 △13.18
今回修正予想(B)	13,262	△53	1,293	1,260	64.62
増減額(B-A)	343	940	1,429	1,517	
増減率(%)	2.7	—	—	—	
(参考)前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	22,069	164	1,122	1,016	52.13

2. 2021年3月期通期連結業績予想数値の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2020年8月7日発表)	百万円 33,307	百万円 △758	百万円 1,201	百万円 1,034	円 銭 53.01
今回修正予想(B)	33,342	△1,189	1,439	1,397	71.63
増減額(B-A)	35	△431	238	363	
増減率(%)	0.1	—	19.8	35.1	
(参考)前期実績(2020年3月期)	44,133	△1,879	972	625	32.06

3. 修正の理由

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症は国内外の景気に急激な影響を及ぼしており、当面、企業活動は鈍い動きが続くものと見られ、経済の先行きは不確実性が極めて高くなっており、当社グループへも大きな影響が見込まれます。

数量面では、ニッケル事業の主需要先であるステンレス鋼業界は、海外の一部は回復基調を辿るものの、フェロニッケル需要の回復の動きは未だ鈍く、厳しい状況での推移が見込まれます。原料鉱石調達面では、影響は見られないものの、調達先国のニッケル鉱山の操業状況については、新型コロナウイルス感染症の影響は注視する必要があります。また、持分法適用関連会社である鉱山会社の持分法による投資利益への影響も見込まれます。

価格面では、当社フェロニッケル製品の販売価格形成の指標となる当社適用LMEニッケル価格は、各国の経済再開を背景とした需要の持ち直し等による経済回復の期待感もあって、景気回復の持続性には懸念を抱えながらも緩やかに上昇するものと見込んでおります。この影響に伴い、前連結会計年度に計上のたな卸資産の簿価切り下げ額について、評価の改善が予想され、売上原価への影響が見込まれます。

そのため、連結業績予想を前ページのとおり修正いたしました。なお、前提条件に関しましては（参考）前提条件の修正をご参照ください。

（注）本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

●配当予想の修正について

1. 修正の内容

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (2020年8月7日発表)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 15.00
今回修正予想	—	—	—	20.00	20.00
当期実績	—	0.00			
前期実績(2020年3月期)	—	20.00	—	5.00	25.00

2. 修正の理由

剰余金の配当につきましては、中期経営計画において、当社は株主の皆様への利益還元を重要な経営課題のひとつとして位置づけており、企業体質の充実・強化を図りつつ、連結配当性向30%を目処に実施してまいります。

配当予想については、連結業績予想の修正の結果、上記配当方針に従い、中間配当0円、期末配当を20円とし、通期で20円に修正いたしました。

（参考）前提条件の修正

	販売数量 (t)			生産数量 (t)			適用LMEニッケル価格 (\$/lb)			適用為替 (¥/\$)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
前回発表予想 (2020年8月7日)	9,380	12,620	22,000	9,371	10,549	19,920	5.73	6.22	6.01	108.20	109.32	108.84
今回修正予想	9,674	12,326	22,000	9,374	10,390	19,764	5.94	6.48	6.24	106.06	106.28	106.18
(参考)前期実績 (2020年3月期)	14,889	13,644	28,533	16,271	14,614	30,885	5.90	6.71	6.29	108.52	108.45	108.49

以上